

13 国際展開

途上国の大都市では、急激な経済成長や人口増加等に伴い、水不足や水質汚染が顕在化していますが、これらの課題の多くは、都の水道事業が歩んできた長い歴史の中で直面し、解決してきたものです。

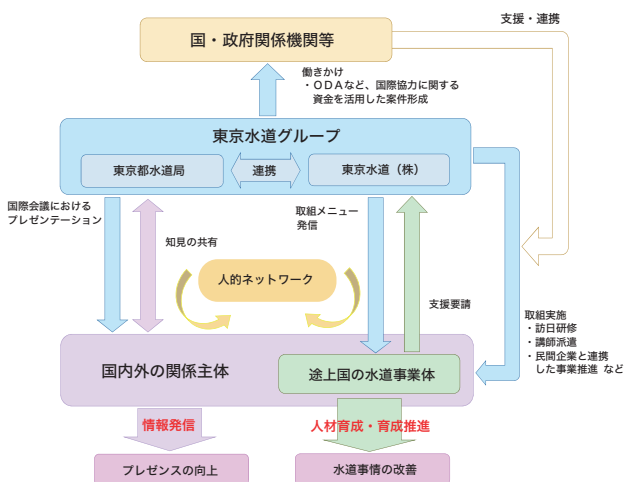
東京水道グループでは、主にアジアの諸都市からの要請に応じ、訪日研修や講師派遣などを行うとともに、近年では民間企業と連携し、政府開発援助（ODA）を活用しながら、海外諸都市の水道事情改善のための技術協力やインフラ整備を進めています。

また、自らの事業運営の中で培った実践的な技術力・事業運営力を、アジアをはじめとする途上国へ発信し、水道事情の改善に貢献していきます。

国際展開の体系

- 人材育成** 東京水道グループの優れた技術・ノウハウを伝え、海外水道事業者の職員の育成に貢献
- 事業推進** 東京水道グループの技術力で海外都市の水道事情を改善
- 情報発信** 東京のプレゼンス向上のため、東京水道グループの先進的な取組を広く国内外に発信

国際展開のスキーム



人材育成

訪日研修

アジアの水道事業者を中心に、平成28年度から令和2年度までの5年間で、約1,300名の研修生を受け入れています。

講師派遣

途上国の水道事業者が抱える課題について、必要な専門知識や技術を持つ職員を専門家として派遣しています。派遣された専門家は、現地での課題抽出や改善提案などを行います。

事業推進

技術協力事業

途上国の水道事業者における専門家育成などの技術協力事業を行っています。

具体的には、国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトをミャンマーで実施しています。

また、タイ王国首都圏水道公社、台湾自来水公司、台北自来水事業処及びミャンマー・ヤンゴン市開発委員会とそれぞれ技術協力等に関する覚書を締結し、講師派遣などを通じた技術協力を行っています。

インフラ整備・運用事業

民間企業と連携し、実際に現地の水道事情を改善する無収水（注1）対策事業に取り組んでいます。

平成26年度にミャンマーで実施した事業では、対象地域の無収水率を77パーセントから32パーセントに削減したほか、24時間給水を実現するなど、現地の水道事情を大きく改善しました。

また、上記成果を踏まえ、平成28年10月から、対象地域を拡大した無収水対策事業を実施しています。

情報発信

国際会議関係

国内外で開催される国際会議へ積極的に参加し、論文発表や展示会を通じて、東京水道グループの技術やノウハウを、世界に向けて広く発信しています。

平成30年（2018年）9月には、第11回国際水協会（IWA）（注2）世界会議・展示会が東京で開催され、知事の基調講演や職員による論文発表等を通じ、優れた技術やノウハウを世界に発信しました。

知見の共有等

海外水道事業者の実務者などに向けたホームページを開設し、技術やノウハウ、各国水道事業者の先進的な取組などの知見の共有を図っています。

注1 無収水
漏水に加え、盗水やメータ誤差等、料金収入につながらない水のこと

注2 国際水協会（IWA）
水の効率的な管理と水処理技術の向上を通して、世界における安定的かつ安全な水の供給及び公衆衛生に寄与することを目的として設立された非営利機関